

教科	理科				
科目	化学基礎	単位数	2 単位	履修年次	1 年次～
使用教科書	i 版 化学基礎（啓林館）				
副教材等	新インプレス化学基礎ノート（浜島書店）				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う）

2 学習の目標

①物質とその変化について、概念や法則の知識を身に付け、実験操作などの技能を身に付けるようにする。 ②物質とその変化の中に問題を見だし探究する過程を通して科学的に考察し、的確に表現できるようにする。 ③自然の現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究する態度を養う。
--

3 指導の重点

①計算力を高めていろいろな現象が、化学の法則に従うことを確認できるようにする。 ②実験や観察の方法を1人1人が直接体験によって身につけるようにする。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	教科書 授業プリント 実験	物質の構成要素について学ぶ。	12	取組状況 課題 提出物 定期考査
	第2章 物質の構成粒子		粒子の構造を学ぶ。	12	
	第3章 粒子の結合		物質は粒子から出来ていることを学ぶ。	11	
後期	第2編 物質の変化 第1章 物質の量と化学反応式	教科書 授業プリント 実験	粒子数と質量の関係など化学物質の量の表し方を学ぶ。物質の変化を化学反応式で表すことを学ぶ。	12	取組状況 課題 提出物 定期考査
	第2章 酸と塩基の反応		酸と塩基を定義し、水溶液の性質の表し方を学ぶ。中和と中和の利用を学ぶ。	12	
	第3章 酸化還元反応		酸化還元を定義し、酸化剤還元剤を学ぶ。金属のイオン化傾向を学ぶ。電池、電気分解を学ぶ。	11	
計				70	(50分授業)

5 課題・提出物等

- ・ 授業プリント
- ・ 課題プリント
- ・ 実験レポート

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察・実験の基本操作を体験するとともに、それらを記録、整理し、基本事項の修得、定着に役立てている。	物質とその変化の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に決められた方法で表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けようとしている。授業に前向きで自己を改善しようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 考査・提出物の内容・授業中の発言の「知識・技能」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C	【評価】 考査・提出物の内容・授業中の発言の「思考・判断・表現」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C	【評価】 提出物の内容や振り返りシート・授業中の発言が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

8 担当者からの一言

ひとつひとつの基本事項を確かめながら理解し、自らの記憶として定着させることが必要です。その知識を日常生活で見られる現象と結びつけ、さらに探究する力を身につけていくと学ぶことが楽しくなっていきます。